

《Japan Tariff Association》

関税 メールプレス

(No. 656) 2022. 7. 11 発行元：日本関税協会 長崎支部

2022年度定時支部総会等を3年ぶりに開催

7月6日(水)、新型コロナウイルス感染症対策を実施する中、長崎市の「サンプリエール」で3年ぶりとなる2022年度定時幹事会・支部総会・講演会が開催されました。

定時幹事会では、2021年度事業報告・決算報告及び2022年度事業計画・予算案・役員改選案についての審議が行われ、満場一致で原案のとおり承認されました。



[定時幹事会での審議の様子]

引き続き開催された総会では、各地区から約130名の会員の皆様にご出席いただき、冒頭、宮脇支部長から、「急激な円安の進行や資源高騰により厳しい状況が続くと思われるが、RCEP協定発効に伴う広域経済圏の実現で、世界貿易の更なる発展が期待される。このように経済活動や国民生活へ少なからず影響を与える国際的な動きに対し、関係者をはじめ国民の関心高く、関税協会が果たす役割は益々高くなっている。」旨の挨拶が行われた後、植田長崎税関長から来賓ご挨拶をいただきました。



[宮脇支部長の開催挨拶]



[植田長崎税関長 来賓ご挨拶]

その後の講演会は、長崎外国語大学学長 姫野 順一氏を講師にお迎えし、税関150周年記念講演「税関150年と長崎港の歴史」と題して、幕末から明治・昭和にかけての税関庁舎や港などの古写真を用いて講演をいただきました。

[姫野講師によるご講演]



[幹事 中村八代市長による懇親会開式ご発声]



[三池地区 安藤副支部長による懇親会閉式ご発声]